



大澤 清 議員

質問
ごみ出し支援について

答弁
様々な方式等を踏まえ、支援導入の可能性を検討していきたい

大澤議員の質問動画



議員
ごみ出し支援の現状及び将来的な問題点について当市の考えを伺う。

保健衛生部長

近い将来、既存の集積所へのごみの搬出が困難になる方が増え、その問題が顕在化していくことが考えられる。

議員

ごみを搬出することも困難である以前に、分別をし、まとめる作業が困難であることも事実である。コミュニティ支援として、中学校単位でPTA事業として行われている資源回収の趣旨説明と、要支援者への対応について伺う。

学校教育課長

PTAが自主的に行う取り組みとして、学校との協力のもと、実施しているものである。資源回収の主な趣旨は、回収した資源の売却益を財源として子どもたちの学習環境の充実を図ることを目的としている。なお、資源回収時の高齢者宅への対応については、各学校に確認したところ、既に実施していると聞いている。



遠藤 章江 議員

質問
市内で捨てられ、鎖が首に巻きつき後ろ足2本で立ったまま何日も頑張った犬。シエルターで保護されている

答弁
活動資金の充実を望む声は承知している

遠藤議員の質問動画



議員

新聞で「茨城県犬猫殺処分がゼロ」が大々的に報道された。平成17年から茨城県は殺処分8年連続全国1位、同時期に坂手町で多数発生した野犬を掃とうする対応で当市は全国から非難された経緯がある。その後の市の対応は。

保健衛生部長

平成28年12月に茨城県犬猫殺処分ゼロを目指す条例が制定された。本市は平成30年に常総市動物愛護協議会を設立した。

生活環境課長

啓発活動や公益団体のさくら猫TNR活動の支援等の取り組みを進めている。

議員

殺処分がゼロになった要因は県の努力と共に殺処分になる犬猫を引き取り終末まで飼養してくれる愛護協議会やボランティア団体の存在があると思うがどう考えるか。

生活環境課長

同様の認識である。

議員

市が建設した動物愛護施設（シェルター）の支援を含め活動に

対する予算は少なすぎないか。

生活環境課長

電気料並びに犬の餌代として年間約20万円を支出している。

議員

動物愛護活動はボランティアと協議会の努力で支えられている。毎日シェルターに通い世話をし、捕獲した犬猫の飼い主を見つけたら自ら負担をしている。市民の安全安心な環境はこの方々の努力で守られていると思う。動物愛護基金を設立し寄付を募ると共に道の駅に流用したようにふるさと納税を使い予算をつくれぬか。

保健衛生部長

活動資金の充実を望む声は承知している。基金設立による資金の確保は有効な手段の一つと考える。

議員

基金が設立できれば、ふるさと納税を活用した資金の確保も可能となる。基金は協議会活動の助成、犬猫避妊去勢手術の助成、譲渡支援等に活用できる。今議会に提出された動物愛護基金設立の請願に対する議員の理解をお願いしたい。

【さくら猫 TNR 活動】猫を捕獲し、避妊去勢手術を行い、猫を元に戻し地域で見守る活動。猫は活動の印として耳の先を桜の花びらのようにV字カットされる